



鈴木和好さん(55)  
リ工さん(54)  
＝胆沢区小山字竹地子＝

## 雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

高校時代、別々の学校でそれぞれ卓球に打ち込んでいた和好さんとリ工さん。当時からプレーヤーとして顔見知りでしたが、就職後、社会人卓球チーム「胆沢クラブ」で一緒にプレーするように。交際が始まったきっかけについて、和好さんは「気が付いたら自然に隣にいた」と照れくさそうに笑います。一方、リ工さんは、卓球の強豪・専大北上高校で活躍していた和

好さんが「憧れの人でした」と明かし「一緒にプレーするように頑張って楽しかった」と当時を振り返ります。

結婚して31年。今でも「隣にいないことが普通で、家内がと話す和好さん。昨年、病に倒れ、集中治療室で目を覚ました時に隣にリ工さんがいてくれたときは「自分が生きていくことよりほっとした」と穏やかにほほ笑みます。退院後も、病状に気遣った食事などで献身的に支えてくれるリ工さんに感謝を忘れません。リ工さんは「夫はいつも感謝の気持ちを言葉にして伝えてくれる優しい人。私の方が支えられています」と顔がほころび「拾った命を大切に、一緒に長生きしたい」と夫への思いを語りました。

病を乗り越え「今が一番幸せ」と口をそろえる2人の間では、これからも思いやりのラリーが続いていくでしょう。



石川 純誠 くん  
(水沢区・水沢小学校6年)

Interview

## 夢トーク

### 将来の夢は「プロテニス選手」

—学校での役割は？

集会委員会に所属しています。ことしからできた委員会で、イベント実行の面で児童会をサポートしています。初めてなので大変ですが、みんなを引っ張っていけるようになりたいです。

—普段、どんな事をして遊んでいますか？

友達とサッカーやバスケをします。スポーツが大好きで、家では9つ上の兄にテニスを教えてもらっています。

—小学校の思い出は？

修学旅行です。青森県の山内

丸山遺跡、浅虫水族館、ワ・ラッセ(ねぶた展示施設)などに行って、学習しつつたくさんの思い出を作ることができました。

—将来の夢を教えてください。

プロテニスプレーヤーです。テレビで錦織圭選手の活躍を見て、カッコいいと思ったことがきっかけ。それからテニスクラブに入って、週1回の練習をがんばっています。

—どんな選手になりたい？

世界ランク上位の選手です。日本で有名な選手になって、海外でも活躍したいです！

中高生の部活動や委員会活動を紹介

## 青春讃歌

### 衣川中学校 生徒会

- ◎役員数 7人
- ◎顧問 高野 昌義 先生
- ◎会長 千葉 太一 君(3年)



## 50周年の歴史と伝統にプライドを

ことし50周年を迎えた衣川中学校。生徒会役員の7人は、その歴史を刻む1ページを作り上げるべく、日々奔走しています。

よりよい学習環境と人間関係の中で学ぶため、ことし発案した「衣中モバイル宣言」。携帯電話やスマートフォンに関して▷持たない▷夜9時以降はメールやLINE(無料通信アプリ)を使わない▷メールなどで人の悪口を言わない—などを決めました。内容を検討する話し合いは夜9時近くまで続いたことも。4月から実施し「人間関係のトラブルが減り、効果が見えてきた」と千葉会長は話します。

体育祭では、毎年「生徒会種目」として全学年参加の競技を企画。ことしは学校の50周年にちなみ、背中渡りをアレンジして「伝統」「文化」「プライド」

をキーワードにしたオリジナル競技を考案しました。

また、近年は合唱に力を入れているという同校。学期ごとの終業式に合唱発表会を行い、2学期の終業式では10曲を超える全校合唱を発表します。生徒たちは毎朝自主的に合唱練習に取り組んでおり「全校でいつでも歌えること」が同校の自慢。50周年記念イベントでも、全校合唱を組み込む予定です。

「小規模校であることをマイナスにせずプラスに変える。1+1が3や4になるように、プラスアルファの努力をしていきたい」と語る千葉会長。役員たちは50周年の誇りを胸に、輝く未来に向かって進む全校生徒の先頭を力強く歩んでいます。



体育祭での生徒会種目



暑い日が続いておりますが、皆さんいかがお過ごしですか。今年の市政懇談会は、将来の人口見通し、財政状況、行政改革と協働のまちづくりをテーマに開催しました。私たちは厳しい現状の課題を直視し、解決に向けて協働の力を確かなものとしていかなければなりません。協働により育まれる意識は、市民の一体感の醸成と市の未来を切り開く大きな力になると確信しております。寄せられた意見、提言については、今後の市政運営に反映させてまいります。

7月18日、水沢区出身の作曲家・四方章人さんのトークショーが開催されました。四方さんは「浪花節だよ人生は」や、昨年レコード大賞新人賞を受賞した雪石町出身の演歌歌手・福田こうへいさんが歌う「南部蟬しぐれ」など数々

の名曲を手掛けました。「良い詩があると燃える。詩に負けてはいけない」という強い気持ちで作曲され、その熱意に感動しました。これからも人々の心に残る名曲を生み続けてほしいと願います。

日本ハムの大谷翔平選手が7月19日に行われたオールスターゲームで、自己最速、球宴新記録となる162球をマークしました。その日は投じたほぼ全球が160km前後と、異次元の投球ショーに球場がどよめいたようです。ペナントレースでのさらなる活躍を期待します。

先月、半導体製造装置メーカーの東京エレクトロン(株)、江刺区のグループ企業である東京エレクトロン東北(株)に10月から半導体関連業務の一部を集約させ、生産の一大拠点を集約させ、発表がありました。また、仮建設資材の製造・販売を手掛ける大嘉産業(株)と新工場建設に伴う立地調印式を行いました。市内経済の活性化と雇用拡大につながることを期待しております。

奥州市長 小沢昌記